「 i-Constructionを通してデータ流通を考える」

平成29年6月20日

東京大学生産技術研究所・准教授／
（一社）社会基盤情報流通推進協議会・代表理事
関本義秀

i-Constructionとは

ICT技術の全面的な活用（土工）

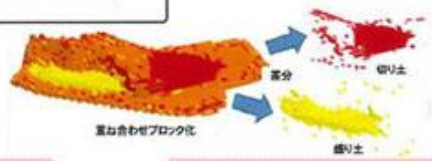
国土交通省

①ドローン等による3次元測量

ドローン等による写真測量等により、短時間で面的（高密度）な3次元測量を実施。

②3次元測量データによる設計・施工計画

3次元測量データ（現況地形）と設計図面との差分から、施工量（切り土、盛り土量）を自動算出。



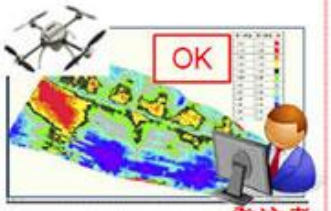
③ICT建設機械による施工

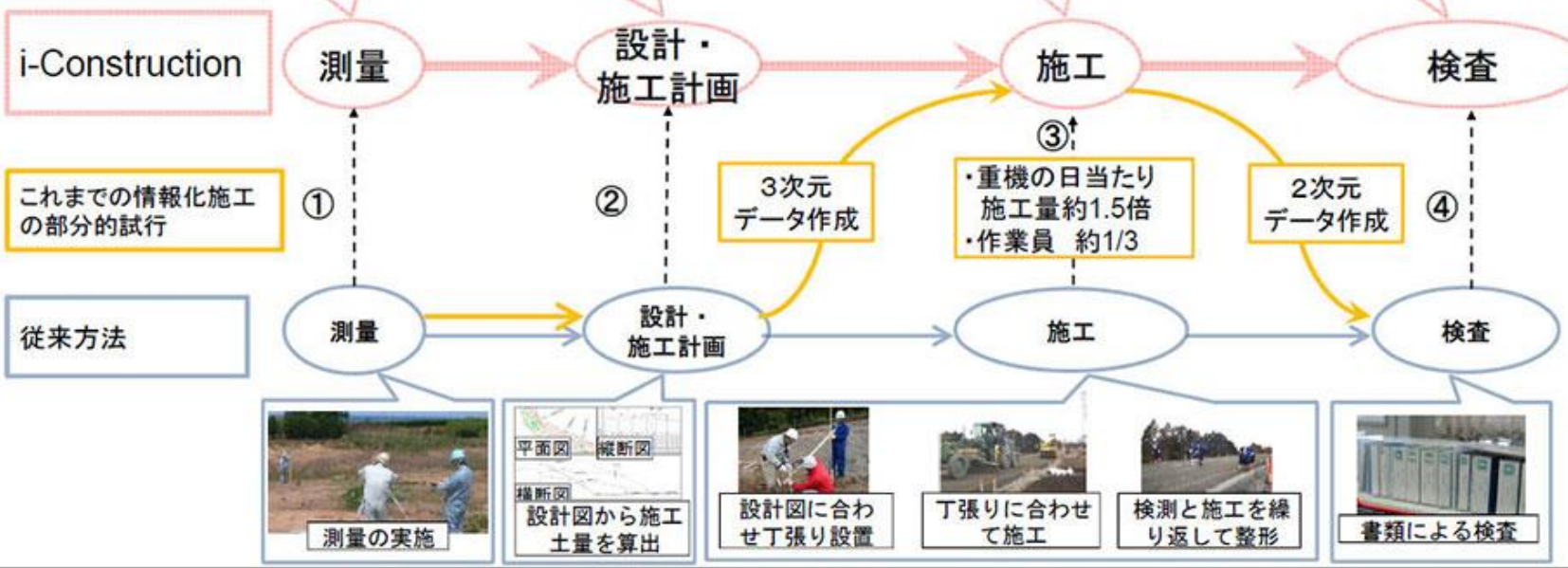
3次元設計データ等により、ICT建設機械を自動制御し、建設現場のIoT(※)を実施。

※IoT（Internet of Things）とは、様々なモノにセンサーなどが付され、ネットワークにつながる状態のこと。

④検査の省力化

ドローン等による3次元測量を活用した検査等により、出来形の書類が不要となり、検査項目が半減。





業界の総力を挙げて。

i-Construction推進コンソーシアム

- コンソーシアムの会員は民間企業、有識者、行政機関などを広く一般から公募
- 産学官協働で各ワーキングを運営

技術開発・導入WG	3次元データ流通・利活用WG	海外標準WG
最新先端技術の現場導入	3次元データのオープン化	国際標準化・海外展開

一般公募（会員）

国・自治体・有識者：行政、学会 大学

建設関連企業：業団体、調査 測量、設計、施工、維持 更新、・・・

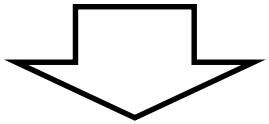
建設分野以外の関連企業：IoT、ロボット、AI、金融、・・・

i-Construction推進コンソーシアムの体制

国交省資料より

現在の（勝手な）課題感

- 大規模予算の工事ではできそう。
- 自治体発注の工事ではどうか？
- 発注者側が異なる工事でうまくデータを使いまわせるか？

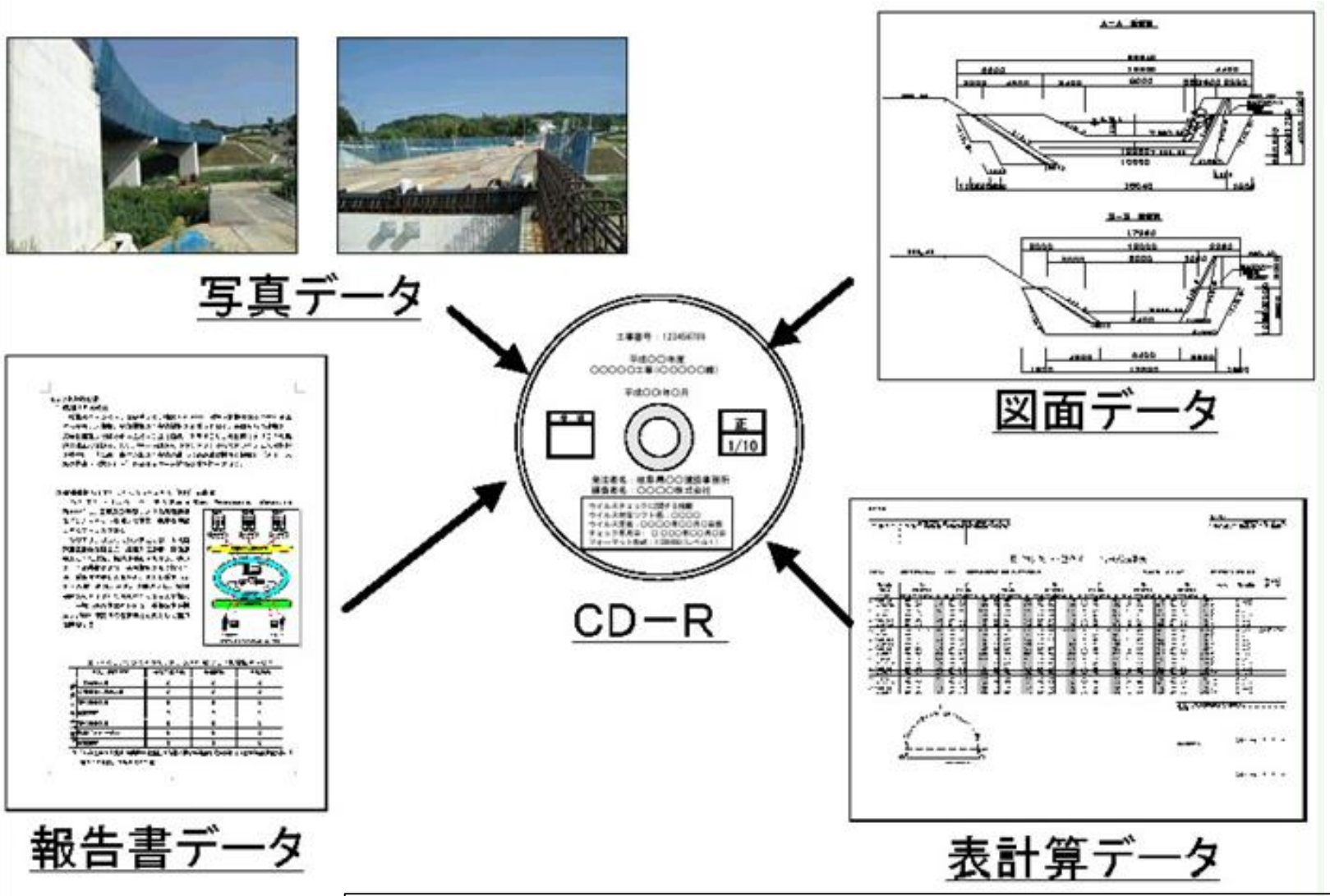


- 円滑なデータ流通を支えるエコシステム（≒オープンシステムと情報関係者の巻込み）が必要

建設関係の大規模システム

- TECRIS/CORINSシステム
- 電子納品保管管理システム
- 工事情報共有システム

電子納品は現場の工事の詳細を知る唯一の材料



http://web.pref.hyogo.lg.jp/wd04/wd04_000000007.htmlより

しかし高度な活用はされていない

- メタデータはアーカイブ化、その他、実データは物理保管

納品媒体 | 拡張情報

納品媒体

基礎情報		
メディア番号	1	
メディア総枚数	1	
適用要領基準	土木200406-01	
発注図フォルダ名	DRAWINGS	
特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	DRAWINGS/SPEC	
打合せ簿フォルダ名	MEET	
打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	MEET/ORG	
施工計画書フォルダ名	PLAN	
施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	PLAN/ORG	
完成図フォルダ名	DRAWINGF	
写真フォルダ名	PHOTO	
その他フォルダ名	OTHRS	
その他オリジナルフォルダ情報	その他オリジナルファイルフォルダ名	OTHRS/ORG001
	その他オリジナルファイルフォルダ日本語名	完成図朱書き
	東側境界座標経度	1340021
	北側境界座標緯度	0342102
	南側境界座標緯度	0342057
発注者情報		
発注者-大分類	○○県	
発注者-中分類	(土木事務所)	
発注者-小分類	○○土木事務所	
発注者コード	3704002	
請負者情報		
請負者名	川田テクノ建設(株)	
請負者コード	28102642	
ソフトメーカ用TAG		
ソフトメーカ用TAG	電納ヘルパー(国交省工事版) Ver5.04	

地図表示 | 更新

保管場所情報

保管場所	施設管理台帳システム
保管部署	技術管理課
保管責任者	今岡
媒体番号	CD-K001

リンク情報

←メタデータ
↓実データ(5年間で7000件、約3TB)

←http://www.kts.co.jp/seijyou/calsdaichou/calsdaichou_w1.html

社会基盤情報標準化委員会
サステナブル電子納品検討小委員会

- データの標準化、オープン化、可視化を、自治体でも展開可能なバランスのとれたサステナブルな形を模索（平成25年度～26年度）。

委員会役職	氏名	所属
小委員長	関本義秀	東京大学 准教授
副小委員長	中條覚	東京大学 特任准教授
幹事長	瀬戸寿一	東京大学 特任助教
委員	小林亘	東京電機大学　研究推進社会連携センター　教授
委員	國島廣高	日本工営㈱ 社会システム事業部統合情報技術部
委員	落合修	国際航業㈱ 東日本事業本部第三技術部
委員	山口章平	㈱建設技術研究所 東京本社情報部

成果1：Timemapperを用いた一般市民にもわかりやすい情報提供

- 下記サイトにて2015年4月に公開開始！

成果2：概要情報公開のための ガイドラインの作成

社会インフラの市民理解・協働推進のための

電子納品概要情報オープン化ガイドライン（案）

2015 年 5 月

社会基盤情報標準化委員会

サステナブル電子納品検討　小委員会

東京大学生産技術研究所

Institute of Industrial Science, the University of Tokyo

目次

1 趣旨

2 電子納品を取り巻く現状

2.1 社会基盤施設の情報に対する社会的ニーズ

2.2 国や自治体におけるガイドラインの策定状況・実施状況

2.3 電子納品成果の活用状況

2.4 オープンデータ化の状況

2.5 本ガイドラインの目指すところ

3 概要情報の公開に向けて

3.1 公開項目の選定

3.2 公開のための許諾について

3.3 公開情報の効果的な可視化

3.4 関連するデータベースとの連携

3.5 電子納品成果登録のあり方について

4 島根県における実例

オンライン型電子納品（平成27年度試作）

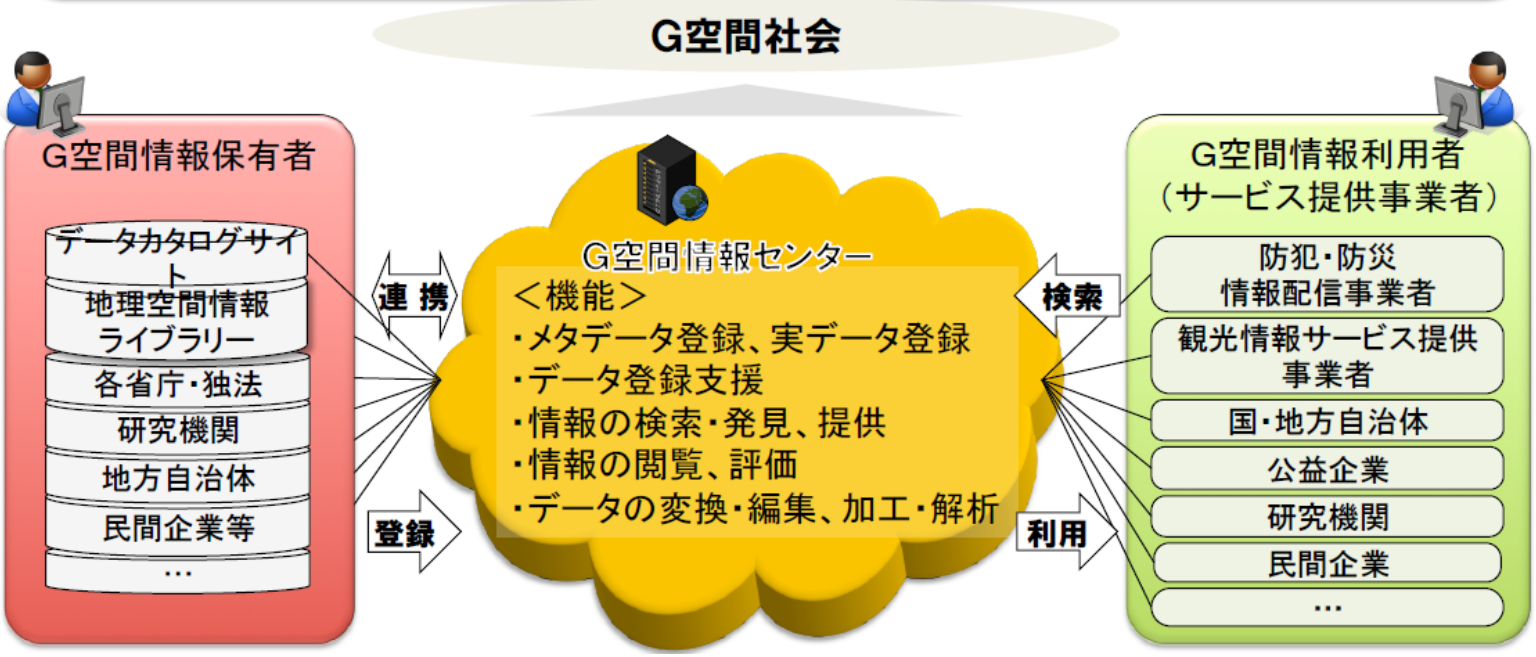
G空間情報センターとは

専門部会における検討成果１

国土地理院

G空間情報センターとは

○ヤフオクや楽天市場などのインターネット上のマーケットプレイス、データカタログサイト
○災害時だけでなく平時も利用可能
○有償、無償あるいは不特定多数、特定者向けのデータが存在する
○二次加工されたデータも登録可能
○開発者支援のための技術情報提供サイト

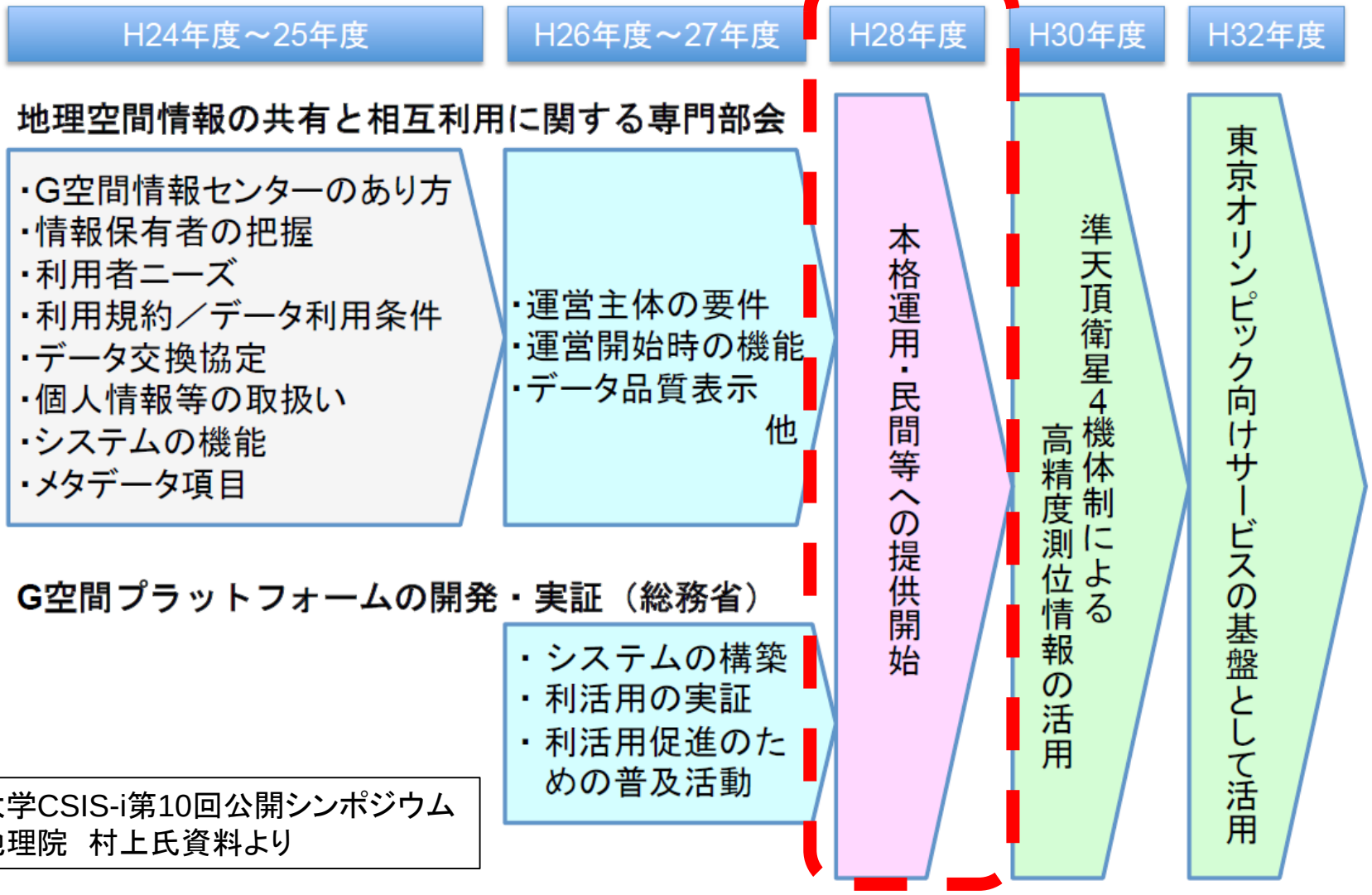


東京大学CSIS-i第10回公開シンポジウム
国土地理院　村上氏資料より

G空間情報センターに係るロードマップ

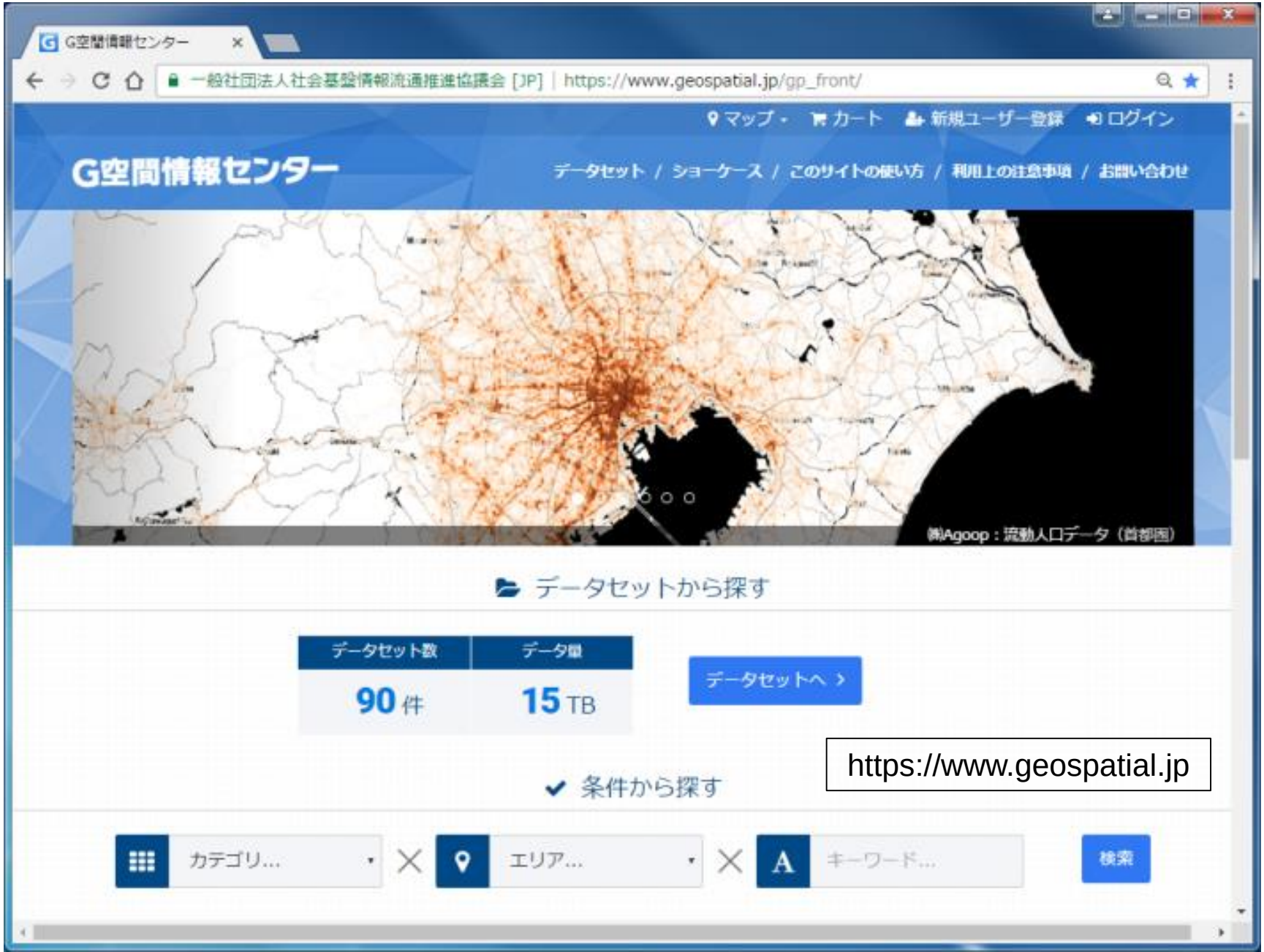
G空間情報センター構想に関する検討状況

国土地理院

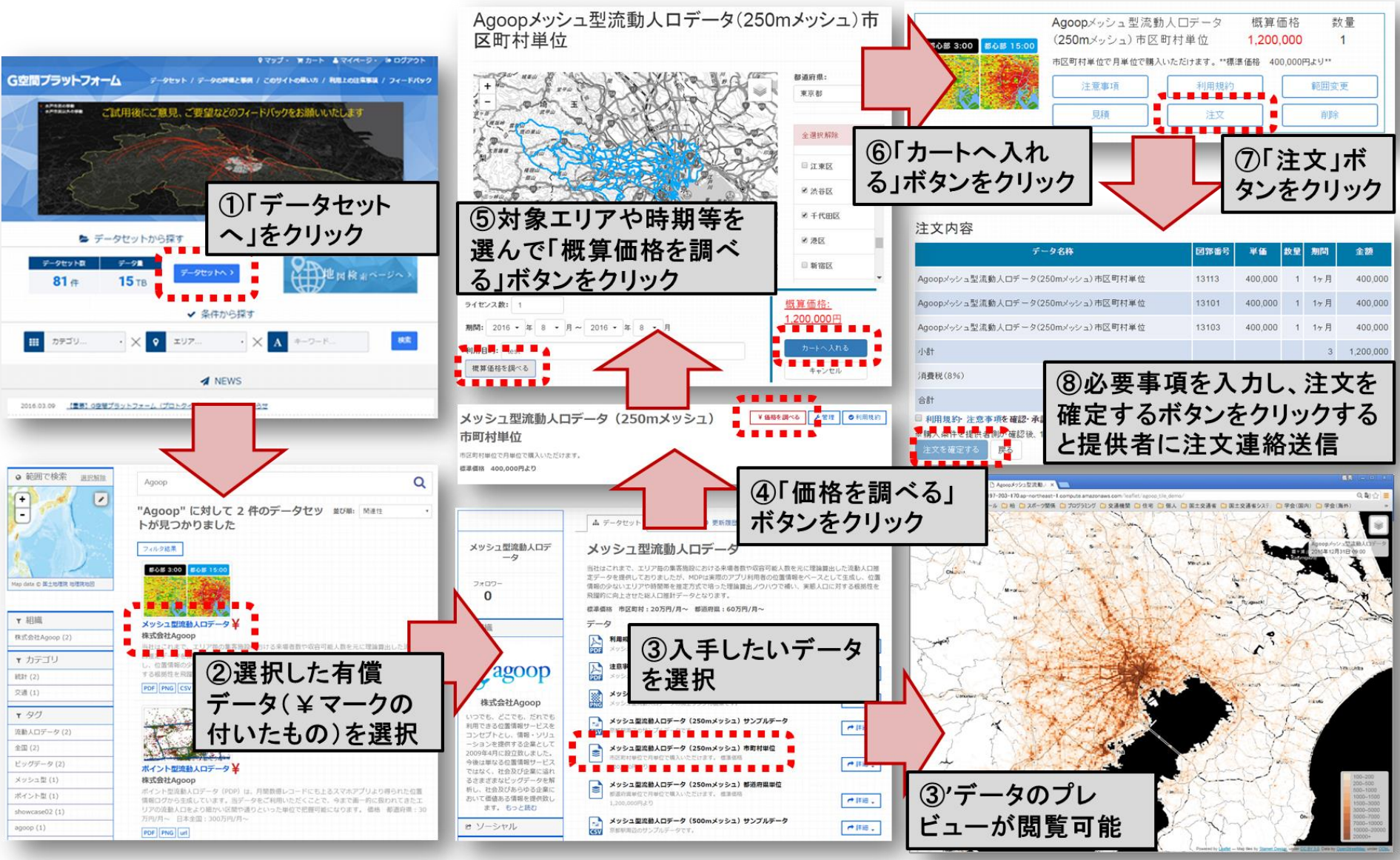


東京大学CSIS-i第10回公開シンポジウム
国土地理院　村上氏資料より

10月4日よりプレオープン！（11/24に正式オープン予定）



データ購入のフロー


①「データセットへ」をクリック
②選択した有償データ（￥マークの付いたもの）を選択
③入手したいデータを選択
③'データのプレビューが閲覧可能
④「価格を調べる」ボタンをクリック
⑤対象エリアや時期等を選んで「概算価格を調べる」ボタンをクリック
⑥「カートへ入れる」ボタンをクリック
⑦「注文」ボタンをクリック
⑧必要事項を入力し、注文を確定するボタンをクリックすると提供者に注文連絡送信

G空間情報センターでのサービス内容

①データ提供

利用者

データ利用

API利用

②アプリ配布による利用環境提供

アプリケーション

出店・広告宣伝

アプリ提供企業

提供データ

- オープンデータ
- 無償データ
- 有償データ
- 独自データ

バックアップデータ

公的データ（非公開）

アプリ・ショーケース

R&D

研究データ

③政府・自治体データの代行管理

管理委託

④新たなデータ開発

協定

R&D

国・自治体
企業
研究機関

⑤新たな解析技術・利活用方法の開発

協定

研究者
研究機関
企業

自治体
ボランティア
地域コミュニティ
・地域企業

災害時協定

災害ボランティア等

セミナー等

自治体
企業

⑥災害時データ提供

⑦コンサルティング

⑧利活用普及活動

凡例：センターオープン時のサービス内容

G空間情報センターで取り扱うデータ（運用開始時点の予定　順次拡大予定）

無償での提供

分類	主なデータ名称	データ保有者
基盤的情報	基盤地図情報, **地球地図**, 空中写真, 地理院地図データ, 電子国土基本図, 国土数値情報（行政区域, 鉄道, 公共施設等）, 場所情報コード, 大字町丁目／街区レベル位置参照情報, 町丁・大字等境界, **歩行空間ネットワークデータ**, 海洋台帳	国交省 総務省
地形・地質・土地分類	地質図, ボーリングデータ, 資源, 地形分類, 国土調査成果（土地分類基本調査, 水基本調査）, 国土数値情報（土地利用細分メッシュ他）	国交省, 文科省, 産総研, JOGMEC
防災・災害	火山基本図、火山土地条件図, 防災関連情報, 通行止め **中央防災会議, 南海トラフの巨大地震モデル検討会, 首都直下地震モデル検討会のデータ（ゆれやすさマップ等）**	国交省 内閣府 産総研
気象観測等	ライブカメラ(河川), 河川水位等観測情報, フェーズドアレイ気象データ	国交省, NICT
環境	自然環境調査, 細密数値情報(10mメッシュ土地利用), 植生指標データ	環境省, 国交省
土地登記等	不動産登記情報及び地図・図面等の情報, 不動産取引価格情報, 路線価	法務省, 国交省, 国税庁
統計その他	国勢調査, 経済センサス地域メッシュ統計, 都市計画基礎調査	総務省, 自治体

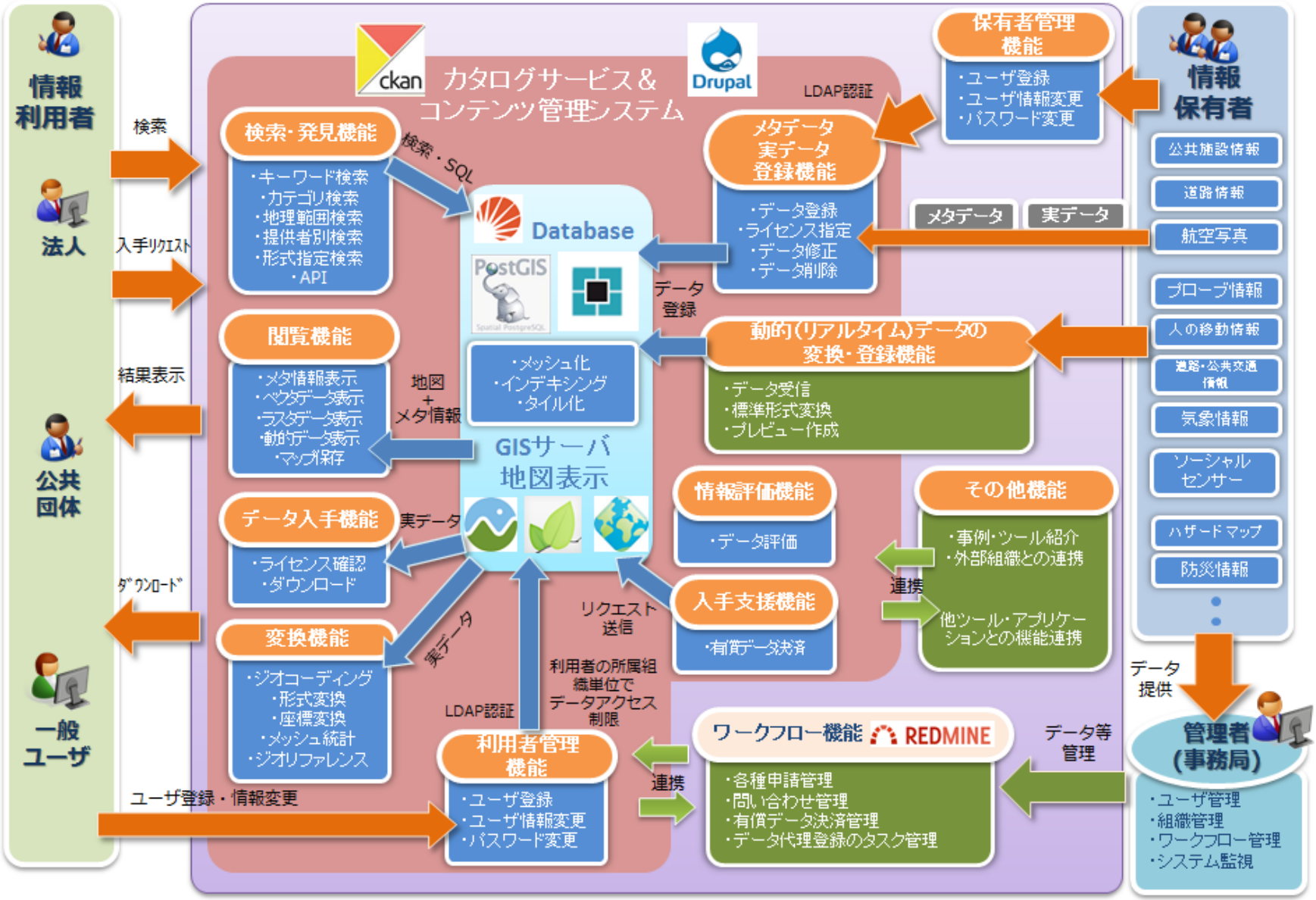
有償での提供

分類	主なデータ名称	データ保有者
動的データ	**通行実績データ, 走行履歴データ, 車載カメラ画像** **観光統計データ, 混雑度データ** **流動人口データ** **リンク旅行速度データ**	パイオニア ゼンリンデータコム Agoop ナビタイムジャパン
静的データ	**航空写真, 電子地図, 行政界ポリゴン　他** **MMS点群データ, リアル3D都市モデル, 赤色立体地図** **空中写真（カラー画像）, good-3D DSM点群データ** **航空写真** **航空写真, レーザーデータ**	NTT空間情報 アジア航測 朝日航洋 パスコ 国際航業

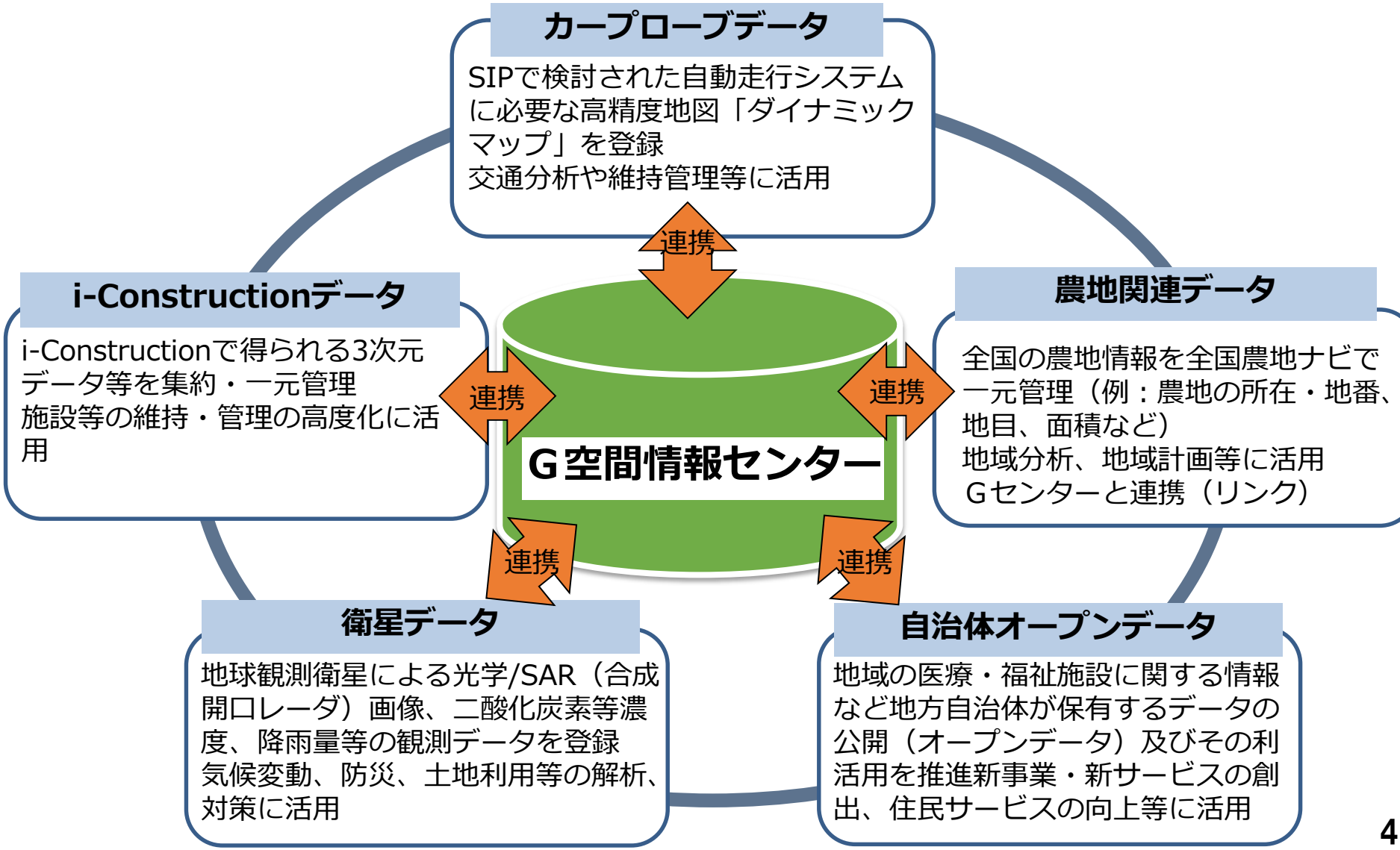
※**太字**：直接ダウンロードが可能なデータ

G空間情報センター　システム構成

- オープンソースをベースに構成



政府情報との連携（イメージ）

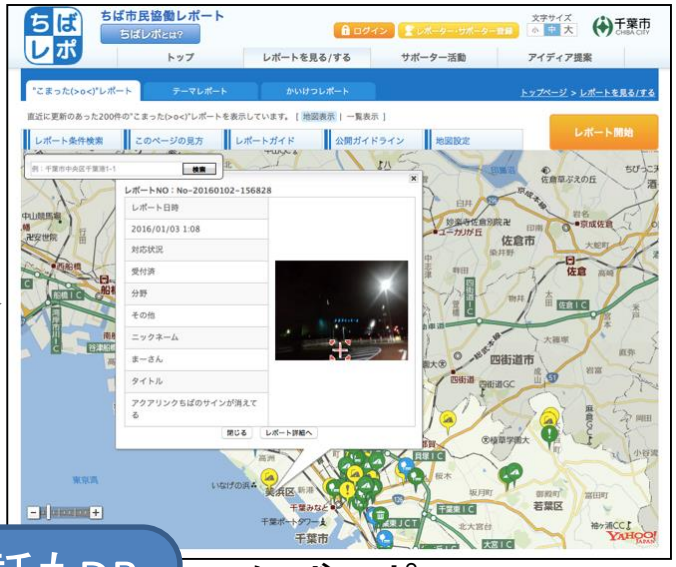


現場の知、市民の知を有機的に組み込んだ次世代型市民協働プラットフォームの開発（MyCityReport）

市民が地域の課題発見

対応状況の共有

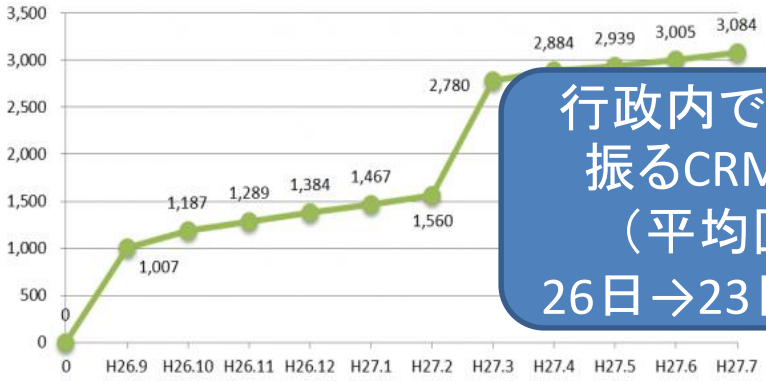
スマホGPS機能を使って
地域の課題をレポート



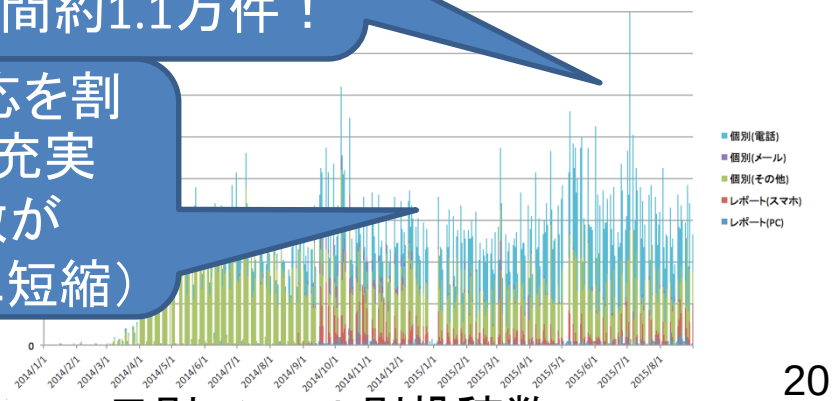
ちばレポWEB

苦情の電話もDB上で統合化し、年間約1.1万件！

行政内で顧客対応を割振るCRM機能が充実（平均回答日数が26日→23日程度に短縮）



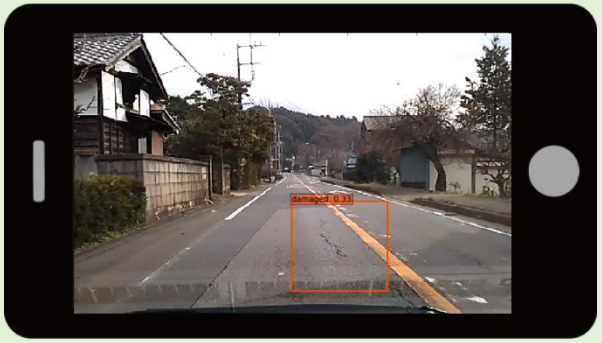
登録者数の推移



日別・ツール別投稿数

「IoT・機械学習を用いた道路舗装損傷の自動抽出」概念図

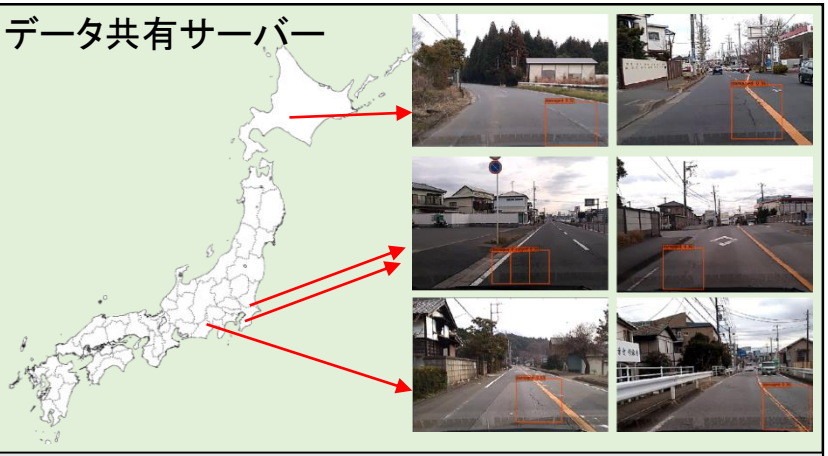
スマホアプリ



・スマートフォンカメラで道路路面を撮影。
・深層学習モデルを用いて損傷候補フレームの範囲と程度を判定し、サーバーに自動送信。

損傷を含む画像のみを送信

データ共有サーバー



・各参加自治体の取得画像を共有。
・取得画像の位置情報を元に道路統計情報を抽出。

道路管理者によるスマホアプリの判定の確認

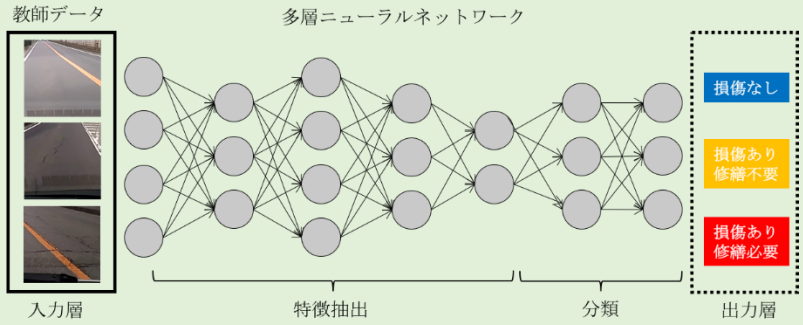
Webツール

・道路管理者がWebで損傷を含む範囲と対応レベルを確認・修正し、教師データとしてラベルを付与。

教師データを日々蓄積

最新の学習モデルをスマホに送信

学習用サーバー



・日々蓄積される教師データで、モデルを学習させ、さらなる精度向上を目指す。
・自治体ごとの管理水準を自動抽出する

駒場での検証精度の比較

- 様々なバリエーションの多数の教師データにより、大きく精度が向上。正解率だけでなく、真陽性率（見つけたい損傷のうち正しく見つけた割合）

confusion matrix

真のクラス＼判定結果	損傷あり（枚）	損傷なし（枚）
損傷あり（枚）	13	45
損傷なし（枚）	14	198

真のクラス＼判定結果	損傷あり	損傷なし
損傷あり	True Positive	False Negative
損傷なし	False Positive	True Negative

正解率	Accuracy	0.781481481
真陽性率	Recall	0.224137931
疑陰性率		0.775862069
疑陽性率		0.066037736
真陰性率		0.933962264
精度	Precision	0.481481481

千葉市500枚でオブジェクト範囲なしで学習させた場合

confusion matrix

真のクラス＼判定結果	損傷あり（枚）	損傷なし（枚）
損傷あり（枚）	51	13
損傷なし（枚）	8	209

真のクラス＼判定結果	損傷あり	損傷なし
損傷あり	True Positive	False Negative
損傷なし	False Positive	True Negative

正解率	Accuracy	0.925266904
真陽性率	Recall	0.796875
疑陰性率		0.203125
疑陽性率		0.036866359
真陰性率		0.963133641
精度	Precision	0.86440678

31,612枚でオブジェクト範囲特定して10,000回繰り返し計算で学習させた場合

confusion matrix

真のクラス＼判定結果	損傷あり（枚）	損傷なし（枚）
損傷あり（枚）	49	6
損傷なし（枚）	8	183

真のクラス＼判定結果	損傷あり	損傷なし
損傷あり	True Positive	False Negative
損傷なし	False Positive	True Negative

正解率	Accuracy	0.943089431
真陽性率	Recall	0.890909091
疑陰性率		0.109090909
疑陽性率		0.041884817
真陰性率		0.958115183
精度	Precision	0.859649123

31,612枚でオブジェクト範囲特定して70,000回繰り返し計算で学習させた場合

全国の自治体で素早く採用できるよう・・・

アーバンデータチャレンジは5年目を迎えました！

Urban Data Challenge 2017

データの力を、まちの力に

http://urbandata-challenge.jp/

多様な主体のモチベーション！？

賞金総額 **200万円！** *

アーバンデータチャレンジ2017
今年も作品募集します！

作品概要：平成29年12月XX日（金）まで

作品締切：平成30年 1月26日（金）まで

最終審査会：平成30年2月24日（土）東京大学駒場リサーチキャンパスを予定

＊ 賞金総額は、応募状況により変更の可能性があります
（下記は2016年度のものです）

	アプリケーション	データ	アイデア	アクティビティ
金賞	50万円	10万円	10万円	10万円
銀賞	30万円	5万円	5万円	5万円
銅賞	10万円	---	---	---
特別賞	オープンガバメント推進協議会賞、日野市賞、学生奨励賞、土木情報学特別賞、 ※各賞該当なしの場合もあります			

歴代の受賞作品のその後（一部）

- **『AED SOS』2013年アプリケーション部門金賞**
  →クラウドファウンディング＆起業

- **『さっぽろ保育園マップ』2014年アプリケーション部門金賞**
  →Code for XXによる他地域（生駒、徳島、流山…）への展開

- **『MY CITY FORECAST』2014年アプリケーション部門銀賞／水戸市長特別賞**
  →その後、 1670自治体をカバーし、地域のWSや職員研修で利用
  →総務省ICT地域活性化大賞2016で奨励賞受賞

MY CITY FORECAST

- **『北海道統計データ閲覧ツールSeseki』2015年アプリケーション部門金賞**
  →その後、大手IT企業を退職し、世界最先端ベンチャー企業へ

UDC2016受賞作品！

部門／賞	作品名	代表者名／チーム名
アプリケーション部門・銀賞／オープンガバメント推進協議会賞・銀賞	LIGHTWEIGHT ROAD MANAGER	前田紘弥（Bootcampers）
アプリケーション部門・銀賞	オガルコ	山形巧哉（ハウモリ）
アプリケーション部門・銅賞	土地スカウター	宮内はじめ（フリーザー一味）
アクティビティ部門・金賞	のとノットアローン	坂井理笑（コード・フォー・カナザワ プロジェクトNNA！）
アクティビティ部門・銀賞	インバウンド向け観光アプリAfter Fiver	古崎晃司（AfterFiver開発Team）
アクティビティ部門・銀賞	MyCityForecastを活用したシミュレーションワークショップ	松本 八治（Code for Nanto）
アクティビティ部門・銀賞	wikipedia TOWN in school	諸田和幸（高遠ぶらり×高遠高校）
アクティビティ部門・銀賞	“地図を使った地域づくり”のすすめ with オープンマップ@山口市	柳登志郎（『オープンマップ@山口市』利活用推進チーム）
データ部門・金賞	パーソナルデータからオープンデータへ　～住民基本台帳を匿名加工しオープンデータに！！～	伊藤文徳（会津若松市市民課）
データ部門・銀賞	地方議会議事録検索 議事ロックス	小田恭央
データ部門・銀賞	観光客向けの京都らしいデータ・セット	坂ノ下 勝幸
アイデア部門・銀賞／土木学会土木情報学特別賞	PCDB	亀山豪大（ASH）
アイデア部門・銀賞	生存確率	山本 雄一（Probability of survival）
オープンガバメント推進協議会賞・金賞／UDC2016学生奨励賞	写真からどこ行くの	藤田紗雪
オープンガバメント推進協議会賞・銅賞	COCONE	大野祐一（BOUSE）
日野市賞・金賞／UDC2016学生奨励賞	子育てイベントカレンダー「ぽかぽか」日野市版	秦那実（首都大学東京）
日野市賞・銀賞	My 防災ノート	佐野大河・木村汐里（首都大学東京）
日野市賞・銅賞	Oya talk	進路を親と話さなかった芸人

facebook アカウント登録

メールアドレスまたは携帯番号 パスワード ログイン

ログインしたままにする パスワードを忘れた場合はこちら

公開・主催者: Code for Kanazawa

興味あり 参加予定 招待

2016年1月11日 10:00 - 17:00 (UTC+09)
約1ヶ月間前

ITビジネスプラザ武蔵
石川県 金沢市 920-0855
地図を表示

招待されている人
8 興味あり
17 参加
100 招待済み

日本語・プライバシー・規約・Cookie・広告・

Knowledge Connector
ハッカソン・アイデアソン成果の共有と
ビジネス化支援・人材情報の統合サイト

ログイン Language

powered by Idea Link Data

ホーム 初めての方へ チュートリアル 事例紹介 マイページ 新規作成

このページをwebで検索 ツイート G+1 0 Share

地域活性化 UDC2015 イベント 神奈川県横浜市 神奈川県横浜市金沢区

八景島開催！横浜・横須賀・鎌倉3市連携ハッカソン（金沢区大会）2Days

URL : http://peatix.com/event/129971

開催日: 2015年12月5日

Sayoko Shimoyama Iwao_Kobayashi Sayaka Ishizuka

横浜オープンデータソリューション発展委員会

メッセージ送信 ページの編集に参加

ライセンス : CC BY

「半島をハックせよ！」をテーマに、横浜・横須賀・鎌倉のテック系3団体が協力して地域を盛り上げるためのサービスやアプリなどを開発するハッカソンを開催します

更新: 2016年2月15日

2
評価指標

いいね！

このページにポストする

埋め込みコードを取得

カマコンバレー（鎌倉）・Code for YOKOHAMA（横浜）・ヨコスカバレー（横須賀）のテック系3団体が協力して地域を盛り上げるためのサービスやアプリなどを開発するハッカソンを開催します。
あなたのアイディアや技術を活かして一緒に地域を盛り上げませんか？
なお、本イベントは「アーバンデータチャレンジ2015」の関連イベントとして開催します。

更新: 2015年11月25日 (Sayoko Shimoyama)

おすすめの助成制度

このページにおける記載内容を実施する際におすすめの助成制度の情報です。

** まだ助成制度の情報がマッチングされていません。

他の助成制度を見る

localwiki 東京都日野市 を検索 ログイン

ニュース

東京都日野市 探索する マップ 活動

ひのMappingWalk2015 編集 情報

「ひのMappingWalk2015」は、地域の『地図づくり』をみんなで行うという趣旨のオープンデータ関連イベントです。イベントは2日間の構成で、1日目は「まち歩き」をしながら地図データを登録・共有、2日目は登録したデータや日野市のオープンデータを活用して、情報の活用・発信の方法や新たなサービスのアイディアをグループでディスカッションします。最後に二日間のイベントの成果物として、日野市やアーバンデータチャレンジなどのオープンデータのコンテストに応募できる活用アイデアをみんなで考えます。

- 主催：日野市
- 共催：アーバンデータチャレンジ2015

マップを閲覧 編集

水戸市 Mito City Official Site

文字サイズ 標準 拡大 画面と文字の色 黒 白 黄 ふりがな 表示 非表示

音声読み上げ | For Foreigners | サイトマップ 検索

暮らし・手続き 健康と福祉 文化・教育・スポーツ 観光 まちづくり 産業・しごと 市政

ホーム > イベント > 文化・教養・スポーツ > 【第2回】アーバンデータチャレンジ2015 共催イベント ～ウィキペディアタウン水戸 @弘道館～ を開催します

いいね！ 163 ツイート G+1 1 B! Bookmark 0

【第2回】アーバンデータチャレンジ2015 共催イベント ～ウィキペディアタウン水戸 @弘道館～ を開催します

「イベント」の他の分類

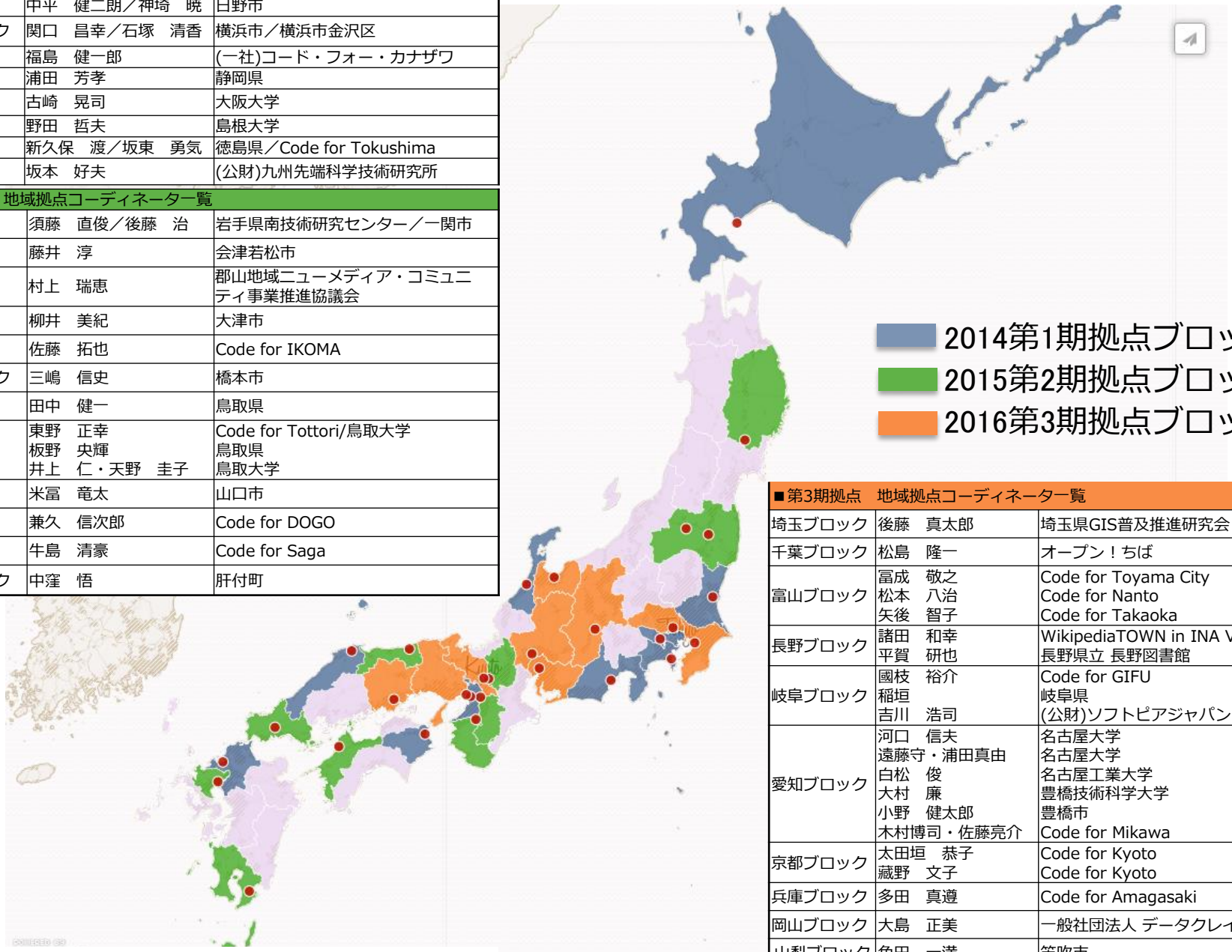
最終更新日：2015年12月22日 ページID：015855 印刷

平成27年4月に「近世日本の教育遺産群」として日本遺産に認定された「弘道館」を歴史アドバイザーと散策をしてみましょう。
そこで見つけた「発見」を実際に「ウィキペディア」に書いて，弘道館の情報を全国に，そして世界に発信しようというイベントです。
ぜひ，ご参加ください！

2017年、地域拠点は40へ！

■第1期拠点　地域拠点コーディネーター一覧		
北海道ブロック	丸田　之人／川口　陽海	室蘭市
茨城ブロック	北條　佳孝	水戸市
東京ブロック	中平　健二朗／神埼　暁	日野市
神奈川ブロック	関口　昌幸／石塚　清香	横浜市／横浜市金沢区
石川ブロック	福島　健一郎	(一社)コード・フォー・カナザワ
静岡ブロック	浦田　芳孝	静岡県
大阪ブロック	古崎　晃司	大阪大学
島根ブロック	野田　哲夫	島根大学
徳島ブロック	新久保　渡／坂東　勇気	徳島県／Code for Tokushima
福岡ブロック	坂本　好夫	(公財)九州先端科学技術研究所

■第2期拠点　地域拠点コーディネーター一覧		
岩手ブロック	須藤　直俊／後藤　治	岩手県南技術研究センター／一関市
福島ブロック	藤井　淳	会津若松市
福島ブロック	村上　瑞恵	郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
滋賀ブロック	柳井　美紀	大津市
奈良ブロック	佐藤　拓也	Code for IKOMA
和歌山ブロック	三嶋　信史	橋本市
鳥取ブロック	田中　健一	鳥取県
鳥取ブロック	東野　正幸 板野　央輝 井上　仁・天野　圭子	Code for Tottori/鳥取大学 鳥取県 鳥取大学
山口ブロック	米冨　竜太	山口市
愛媛ブロック	兼久　信次郎	Code for DOGO
佐賀ブロック	牛島　清豪	Code for Saga
鹿児島ブロック	中窪　悟	肝付町



■第3期拠点　地域拠点コーディネーター一覧		
埼玉ブロック	後藤　真太郎	埼玉県GIS普及推進研究会
千葉ブロック	松島　隆一	オープン！ちば
富山ブロック	冨成　敬之 松本　八治 矢後　智子	Code for Toyama City Code for Nanto Code for Takaoka
長野ブロック	諸田　和幸 平賀　研也	WikipediaTOWN in INA Valley 長野県立 長野図書館
岐阜ブロック	國枝　裕介 稲垣 吉川　浩司	Code for GIFU 岐阜県 (公財)ソフトピアジャパン
愛知ブロック	河口　信夫 遠藤守・浦田真由 白松　俊 大村　廉 小野　健太郎 木村博司・佐藤亮介	名古屋大学 名古屋大学 名古屋工業大学 豊橋技術科学大学 豊橋市 Code for Mikawa
京都ブロック	太田垣　恭子 藏野　文子	Code for Kyoto Code for Kyoto
兵庫ブロック	多田　真遵	Code for Amagasaki
岡山ブロック	大島　正美	一般社団法人 データクレイドル
山梨ブロック	角田　一満	笛吹市

Powered by CARTO http://bit.ly/2bZCG5H

UDCのあゆみ・持続運営のための格闘

2013
首都圏で実施（UDCT）
75作品応募

10拠点・56作品応募

2014
全国展開・拠点ブロック開始
コーディネータ公募

20拠点・158作品応募

2015
ブロックメンター導入
データスポンサー導入
学生奨励賞導入

30拠点・198作品応募

2016
メンター研修実施
アクティビティ部門導入
ベスト地域拠点賞導入

全国にシビックテック普及！

UDC実行委員（2016実績）

実行委員長	関本義秀（東京大学生産技術研究所）
事務局	伊藤顕子（事務局長：日本工営㈱）、東修作　（Open Knowledge Japan）、瀬戸寿一・矢崎裕一（東京大学空間情報科学研究センター）、山本尉太（国際航業㈱）、関治之（合同会社Georepublic Japan）、小俣博司（東京大学生産技術研究所）、高橋陽一（㈱ インディゴ）、朝日孝輔（合同会社MIERUNE/(一社)社会基盤情報流通推進協議会）
自治体、省庁、公的団体	三好洋久（千葉県流山市総合政策部行政改革推進課）、関口昌幸（神奈川県横浜市政策局政策課）、松田圭介（経済産業省商務情報政策局情報プロジェクト室 ）、坂下哲也・郡司哲也・飯田哲・恩田さくら（一財 日本情報経済社会推進協会）、柴田重臣（(一社)Code for Japan/ Code for Ibaraki）
大学、有識者	浅野耕一（秋田県立大学システム科学技術学部）、 河口信夫（名古屋大学大学院工学研究科）、川島宏一（筑波大学システム情報系社会工学域）、神武直彦（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科）、小林亘（東京電機大学）、仙石裕明（NPO法人伊能社中）長井宏平（東京大学生産技術研究所）、西沢明（東京大学空間情報科学研究センター）、奥村裕一（東京大学公共政策大学院）
民間企業	大伴真吾・嘉山陽一・勝部圭一（朝日航洋 ㈱）、青島竜也（ＮＴＴ空間情報㈱）、藤津克彦（㈱建設技術研究所）、石井邦宙（アジア航測株式会社）、和田陽一・野路桂子・辰巳亮（国際航業㈱）、片柳貴文（日本工営㈱）、鈴木茂雄・筒井慧（ESRIジャパン㈱）、小池隆（合同会社緑IT事務所）
データ提供支援拠点	橋詰秋子（国立国会図書館電子情報部電子情報流通課） 太田恒平・野津直樹（株式会社 ナビタイムジャパン）

ありがとうございました！

sekimoto@iis.u-tokyo.ac.jp